



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第106号
令和7年7月16日



定例会毎に発行

河津町議会だより



白馬南小との交流

- | | | | |
|-----------|--------------------|-----------|--|
| P. 2 | 定例会 | P.10～P.11 | 出張！河津町議会 |
| P. 3 | 伊豆縦貫道建設促進要望活動 | P.12～P.13 | 中学生アンケート |
| P. 4～P. 8 | 町政を問う
▶一般質問（5人） | P.14 | 議会のうごき他 |
| P. 9 | 常任委員会 | P.16 | 私の一言
▶河津小学校長 鈴木 浩司
▶河津中学校長 長友 信也 |



YouTubeで
議会映像配信中



河津町議会
WEBサイト

令和7年 第2回 定例会（抜粋）

令和7年 第2回定例会が6月4日～5日に開催され、諸般の報告、町長の行政報告、5名の議員による一般質問が行われたあと報告事項1件と専決案件4件、条例案件1件、単行議決1件、補正予算5件の計11議案を審議し承認・可決した。

町長の行政報告

●職員的人事異動

「河津町第5次総合計画」の着実な推進のため、新規採用6名を含む35名の異動を発令。

●地域おこし協力隊

新しく、岡愛香梨隊員に地域農業活性化業務等推進の任務、原愛美隊員に地域福祉業務等推進の任務で委嘱し、協力隊は5人体制となった。

●ふるさと納税

令和6年度は、寄附件数2,348件、寄附総額1億5,455万1千円となり、前年度より340件、2,142万2千円の増となった。

●带状疱疹予防接種費用（定期及び任意）を助成

定期接種対象者に個別通知を行い、4月末までに27人が接種。任意接種については5月末時点で61人の申請があった。

承認・可決された議案（抜粋）

●令和6年度一般会計補正予算（専決）

歳出では森林環境整備促進基金積立金344万1千円、河津桜まつり運営補助金850万円を追加し、歳入歳出それぞれ51億9,423万7千円とした。

●令和7年一般会計補正予算

移住・定住推進事業補助金、定額減税補足調整給付金、施設修繕（洋式トイレ化）、防災公園整備事業に伴う重要種保全対策業務委託（樹木や昆虫）、校外施設等使用料（敷根プール）、NHKテレビ受信料未払い分などで、歳入歳出それぞれ4,100万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ46億6,100万1千円とした。

●小中学校児童生徒用一人一台端末購入契約

西日本電信電話（株）と1,762万4,335円で随意契約。

議員説明会

令和7年5月26日開催

●NHK受信料について

公用車のカーナビ11台分91万5,195円の未契約未納が発覚。

●プレミアム商品券発行事業（予定）

事前予約で9月初旬から購入でき、1冊1万4千円分を1万円で購入（40%プレミアム）。発行冊数は6千冊。

他3件



移設された放課後児童クラブ

●第35回河津桜まつり

桜の開花が大幅に遅れたため3月9日まで延長。実行委員会集計では、入込み客数は約54万人、乗用車駐車台数が前回に比べ約5千台減少したことによる収入減や、期間延長による経費の増などで大きな減益。

伊豆縦貫自動車道早期開通の要望活動

●河津町単独による要望
活動実施の経緯

伊豆縦貫自動車道は令和6年度までに事業化が進み、伊豆市茅野～河津町梨本の天城峠区間を残すのみとなった。

一日でも早い伊豆縦貫道開通を目指し、最大の難所・天城越えの自治体である河津町として、町民の思いを届けるべく、七年ぶりとなる町単独での要望活動の検討を第2常任委員会で行った。

その後、議員全員で検討を進め、議会だけでなく町全体での要望活動として地元区・産業団体・町・議会が一体となり要望活動を行う事とした。

●国土交通省中部地方整備局への要望活動

5月16日
第2常任委員会の5名で名古屋市へ

要望先

国土交通省中部地方整備局 道路部

道路部長 望月拓郎
道路調査官 大口鉄雄
「伊豆縦貫道が地域の防災・医療・観光・産業にとって非常に重要だと、生の声を聞けて良かった」とのコメントをいただいた。



●国土交通省・財務省への要望活動



5月19日

要望活動参加者

河津町商工会

会長 土屋典之

青年部長 飯田喜治

河津町観光協会

副会長 関 圭宏

副会長 堤賢太郎

事務局長 諸星正彦

河津町旅館組合

理事 稲穂照子

地元区

梨本区長 平川広治

大鍋区長 渡辺尚志

河津町 岸 重宏 町長
河津町議会 議員10名

協力頂いた国会議員各位
衆議院議員 勝俣孝明
衆議院議員 西園勝秀
参議院議員 若林洋平



要望先

国土交通省

政務官 吉井 章

事務次官 吉岡幹夫

道路局長 山本 巧

財務省

主計官 菅野裕人

限られた時間の中で、勝俣議員の進行のもと、町長・議長からの説明に続き、商工会や観光協会、旅館組合、地元区長から地域の熱い思いを伝えた。七年前の要望時には、首相官邸にて故・安倍首相に河津の名物である「ワサビ丼」を召し上がって頂いたエピソードをお伝えすると、驚きと共に河津町への関心を持っていただけた。

河津町議会は今後も伊豆縦貫道の早期開通に向け活動を続けてまいります。



町政を問う

一般質問



ドローン操作をする町職員



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



わた なべ まさ あき
渡 邊 昌 昭 議員

質問 新たな河津町教育大綱の基本理念は

答え さらなる議論を進め、課題に取り組み

質問 来年度から新たな教育大綱の制定が必要だがこの5年間に小学校の統合等大きな改革があったがどのように考えるか。

町長 町の教育大綱は教育に対する町の指針であり大変重要なもの。この5年間に小学校の統合など大きな変化があったが、順調に移行できたと思う。

質問 教育大綱の柱である学校教育と社会教育であるが、教育環境が変化する中で、郷土を愛する方策にどのように取り組んでいくのか。

質問 社会教育において高齢者を取り込む施策は。

教育長 次期教育大綱における基本理念を「郷土を愛し、豊かな心身を育む人づくり」としたい。子どもたちが学びの意欲

教育委員会事務局長 地域社会や共通の趣味を持つ者同士で活動を行い、人間関係の形成を行っていただきたい。

質問 ドローンの活用について

答え 各種訓練等への参加を検討する

質問 以前の私のドローン導入の質問に職員の資格取得補助を推進し、検討するとの回答だったが資格取得者は増えたのか、また購入した2台のドローンの活用や災害時等の連携協定は結ばれたのか。

防災課長 防災課が1機保有している。活用事例はないが、年に1回程度操作確認を行っている。連携協定は結んでいない。

防災課長 今後操作習熟度の向上と機材点検を兼ね、操作資格保有職員に講習会の実施、防災訓練等への参加を検討していく。

町長 現在有資格者は7名、昨年度はほとんど使

産業振興課長 小規模林地開発、海岸、漂流物現地確認など活用している。

他 町長の今後の町政方針について 1件

質問 機材の保守点検、

機材の保守点検、

機材の保守点検、

町政を問う

一般質問



能登半島地震で揺れにより浮き上がり破損した浄化槽



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



えん とう よし のり
遠 藤 嘉 規 議員

質問 災害時に向けたトイレの備えは

答え 町の受援計画に組み込みたい

質問 南海トラフ地震への備えに、トイレ問題がある。過去の震災でもトイレが使えず、衛生悪化や健康被害が多数発生。特に女性や高齢者への影響が大きい。河津町の備えはどうか。

対応する。能登の教訓は活かす必要がある。簡易トイレの備蓄はあるが、十分とは言えない。

込みたい。

町長 災害時のトイレ問題は重要課題と認識している。防災計画に基づき

町長 災害対応の受援計画を作る必要がある。策定時にトイレ対応も組み

質問 各地区との連携は。

防災課長 簡易トイレの備蓄や使用方法等を各地区と協議していく。

質問 防災士会の今後の活動は

答え 所属地区の備蓄品の検証を行う

質問 防災士会は町民と行政の間に立つ、重要な役割を担う組織。活動再開にあたり、今後の役割や町との関わりは。

特に今年度は、防災士の居住地区での装備品確認と活用を協力を求める。

進める。

町長 昨年度、防災士会と活動再開に向け、意見交換を実施してきた。今後も防災訓練の時は、各地区の要請に応じて防災士会に協力を依頼する。

防災課長 地域ごとに状況が異なるため、備蓄品の種類や量の見直しが必要。先の防災士会議で、防災士に自地区の備蓄状況の検証を依頼した。今後の備蓄方針は、防災士の検証結果を参考にして

町長 防災関連3団体は、根拠が異なるが、災害時に役割を發揮し連携する必要はある。今後、それぞれの役割や機能が發揮されるよう検討したい。

要。先の防災士会議で、防災士に自地区の備蓄状況の検証を依頼した。今後の備蓄方針は、防災士の検証結果を参考にして

に役割を發揮し連携する必要はある。今後、それぞれの役割や機能が發揮されるよう検討したい。

※ VC：ボランティアコーディネーター

町政を問う

一般質問



役場窓口



くわはら たけし 議員
桑原 猛

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



質問 自治体アウトソーシングの考えは

答え 少数精鋭の組織維持で対応

質問 役場の職員数も限りがある中、住民ニーズの複雑化や社会情勢の変化に対し、より質の高い生活を支援しなければならぬ状況。アウトソーシングによって日常的に発生する煩雑な業務を外部の企業に任せれば、職員は注力すべき業務に集中できるようになると考える。また、休日など、当直も窓口業務のアウトソーシングができれば、職員の負担も軽減でき、職務のモチベーションにつながると思われるがどうか。

だけではなく、事務の効率化を図るために、DX化による住民サービスや、業務の効率化の検討も必要と考える。

副町長 当町では包括業務として、外部に発注し、業務の効率化や、住民サービスの維持向上に努めている業務もある。これらの取組は、専門的な知識や、効率的な運営が期待でき、民間委託により、質の高いサービスの提供を目指して委託している。

マイナンバーカードの普及により、全国のコンビニエンスストア等で、住民票などが取得できたり、確定申告がスマートフォンでできるようになったり、税金の納付は、QRコードにより取扱い業務の人的負担軽減につながっている。

町長 業務改善の一環として、また住民サービスの向上を目指しての外部委託をする方法も必要と考えるが、やはり内容の必要性、費用対効果などを考えて行わなければならない。ただ、外部委託

その他の業務について、具体的な委託の計画はないが、費用対効果、サービスの質の向上、職員の負担軽減など、検証する必要や個人情報等、委託先のセキュリティ対策など、十分に検証していかねばならない。今後、ほかの自治体における事例や技術革新の動向なども注視しながら、当町にとって、最適な時期や方法を検討していきたい。

町政を問う

一般質問



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



きた じま まさ お
北島正男 議員

観光中心の町らしい看板をもっと増やしたい

質問 町はもっとユニバーサルデザインへ

答え 人に優しい町づくりは重要な施策

質問 ユニバーサルツー

リズムの観点で、観光が

中心の町らしく、ビジュ

アル型の観光案内表示を

もっと増やして欲しい。

町長 賀茂地域で観光客

に対しても人に優しい町

に取り組むべきと県知事

主催の地域サミットで提

案もした。大型観光案内

看板だけでなくパンフや

質問 シニアカーなど活ユーザーへの配慮は

答え 要配慮者へ予防的観点を持つ

質問 増加傾向にあるシ

ニアカーを移動手段に活

用し、自立で社会参加し

ている人達が行動する道

路の安全性を高めるべき

では。

町長 お尋ねのような人

たちへの配慮は、安全な

生活のため必要と思う。

建設課長 道路の点検は

毎月行い、破損箇所など

SNSなどと相乗し、し

っかり対応していきたい。

産業振興課長 観光スポ

ットの大型案内看板は、

国立公園の指定や、県の

屋外広告物規制などの基

準に合わせて検討してい

きたい。また、スマート

フォンのGPS機能を活

用した音声ガイドなどの

整備をしている。

は必要に応じて修繕し、

民地からはみ出す垣根な

どは、所有者に適正な管

理をお願いしている。

質問 シニアカーなどの

活用は、自立を促す介護

予防の一つで、免許返納

後の引きこもり防止にも

役立つことから、町の福

祉の対象であり、購入や

レンタルの費用補助はで

きないか。

町長 移動手段として有

効で今後普及と対策の両

面から考えていきたい。

福祉介護課長 現状では

購入の補助などは無い。

高齢者には安全な社会参

加の手段であり、普及の

ために社会福祉協議会で

は試乗と安全講習イベン

トを考えている。

町政を問う

一般質問



河津町民が好きな場所第2位の河津バガテル公園



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



まさ き せい じ 議員
正木 誠司

質問 河津バガテル公園の運営は

答え 来年度以降も指定管理で運営を

質問 バガテル公園の令和5年度収支は赤字であったが、令和6年度の収支状況は。

企画調整課長 指定管理

事業者からの速報値として、800万2132円の赤字と報告を受けている。

質問 バガテル公園の底地は借地だが、今後、町が買い上げて町有地とす

る考えはあるのか。
町長 借地料については大きな問題だと認識している。地権者の皆さんには、将来的にはそのような方向性でご理解を願いたいという事を前提として借地料の減額についてお願いをしている。

が、実績のある現事業者が引き続き運営する事が望ましいと思う。来年度以降も運営は継続するのか。
町長 現在の指定管理実績や今後の事業計画について指定管理者選定委員会に諮り、公募や随意契約などの判断も含めて、次期指定管理者の選定について検討を行う。

質問 河津町の熱中症対策は

答え クーリングシェルターを開設する

質問 河津町における今夏の熱中症対策は。

町長 法律の規定による暑熱避難施設の指定に必要な事項を定め、熱中症発生防止を進めていく。

健康増進課長 町の防災

メールや公式LINEによる熱中症の注意喚起、有線テレビでのテロップ放送を行う。

質問 熱中症ゼロの取り組みとしてクーリング

シェルターの常時設置と、夏の電気代補助を独自に設定出来ないか。

町長 町の施設だけでなく民間施設も協定を結んでクーリングシェルター

として活用を計画している。補助金については現状で考えていない。

健康増進課長 6月1日

から役場庁舎、保健福祉センター、文化の家をクーリングシェルターとして誰でも利用可とした。民間事業者の指定については現在進めている。来年度以降も4月第4水曜日から10月第4水曜日までクーリングシェルターとして開設する。

第1常任委員会

静岡県庁

鈴木康友県知事

表敬訪問へ

4月24日に第1常任委員会と、河津町商工会土屋典之会長をはじめとする観光サービス業部会メンバーで、静岡県庁に鈴木康友県知事を表敬訪問した。

鈴木知事は、自身の著書のなかでも、「ライドシェアは待ったなし、浜松市長就任当初から過疎地域が半分を占める浜松市で利用者の少ない赤字の路線バスを市の税金を投入し維持してきたが「住民が住民を運ぶ」共助型交通が必要と訴えてきたと綴っている。

そんななか、2月19日から2月25日に第1常任



鈴木県知事を表敬訪問

委員会と河津町商工会で実証実験を行った、共助型「ライドシェア」「河津ザクラライド」の活動に注視し、出発式などの情報を自身のSNSなどで情報発信をされていた。

鈴木知事は、全国自治体ライドシェア連絡協議会認証の青色のスクーターを着用し県知事室へメンバーを迎え入れ「皆様の活動を見ている。今後の活躍と進展に期待する」と笑顔で激励した。

誰もが利用できる「共助型ライドシェア」実証実験決定

6月2日に河津町商工会会議室にて会議を行い、第1常任委員会と河津町商工会観光サービス部会で進めてきた「河津ザクラライド」事業に、今回から河津町観光協会提副会長、事務局を加え、議会、商工会、観光協会が一体となり町の課題に取り込むこととした。

前回は河津桜まつり期間中繁忙期のニーズ調査と地域・産業の活性化が主であったが、今回は利用対象を町民、学生、観光客、誰もが利用できる「河津ザクラライド」とし、通常期の夜間交通のニーズをこの実証実験を通じて検証していきたい。

次回「河津ザクラライド」内容

- 運行日程
令和7年9月27日～
10月10日
- 運行時間
17時30分～22時30分
(予約は16時30分～
22時00分)
- 運行体制
乗務員2名(ドライバー
+補助員)
- 料金
5キロ未満 500円
5キロ以上 1000円
町内(1グループ1行程)
- 利用用途
通学・買い物・飲食等制限なし
- 広報周知
回覧板・町公式「LINE」
河津有線テレビ・
新聞折込チラシ

第2常任委員会

常任委員会活動

- 3月21日
河津町立文化の家運営協議会 委員長出席
- 3月24日
委員会開催
伊豆縦貫道要望活動について協議
*要望活動は別ページに特集記事として掲載
- 3月25日
第2回河津町学校給食運営協議会 委員長・副委員長出席
- 4月22日
河津町自衛隊協力会理事會 委員長出席
- 5月21日
河津町自衛隊協力会總會 委員長出席
- 5月26日
第1回河津町学校給食運営協議会 委員長・副委員長出席

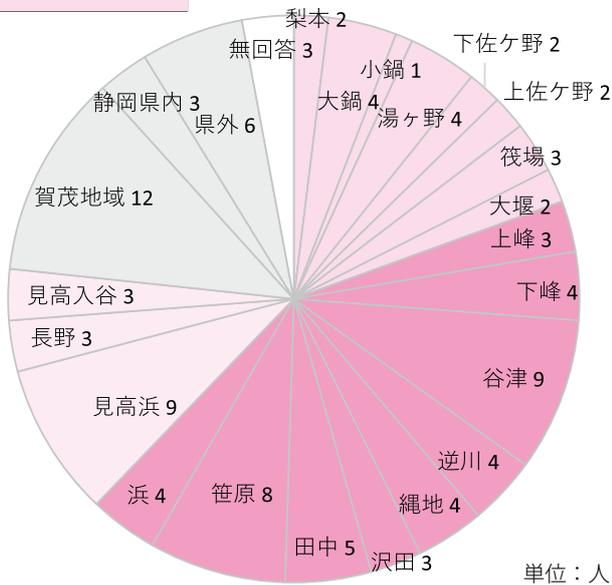
出張！河津町議会

令和7年3月23日(日)

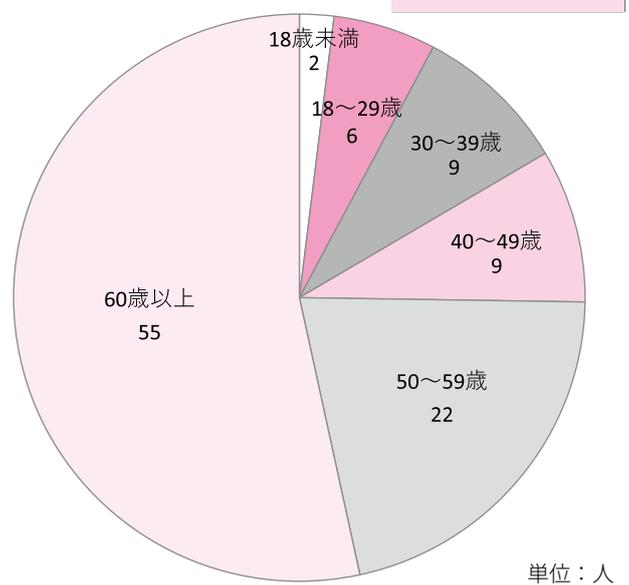
in 河津寄って軽トラ市

アンケートにご協力いただいた103名の皆さま！ありがとうございました

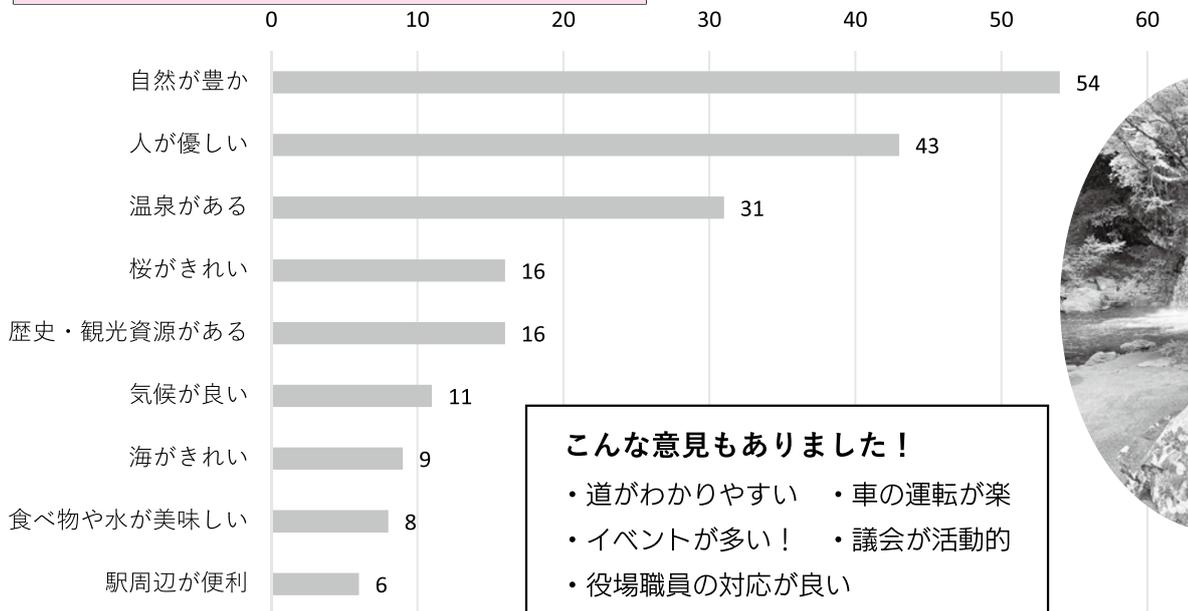
居住地は？



何歳ですか？



河津町の良いところは？（複数回答可）



河津町で好きなところは？

- 1位 河津七滝
- 2位 河津バガテル公園
- 3位 今井浜海岸

- ・ 来宮神社
- ・ 峰大噴湯公園
- ・ 踊り子温泉会館 ・ かわづっこ広場
- ・ 河津桜観光交流館 ・ 文化の家
- ・ ならんだの里 ・ 涅槃堂と見晴台
- ・ 河津川 ・ 桜並木
- ・ 海 ・ トリムコース
- ・ 旧天城トンネルと天城山

好きな河津桜は？

- 1位 河津桜原木
- 2位 上条の桜
- 3位 一膳の桜
- 4位 役場の桜
- 5位 峰・小沢邸の桜

好きな桜並木は？

- ・ 豊泉橋周辺
- ・ 館橋から河津川河口
- ・ 踊り子温泉会館裏
- ・ 河津川沿い全ての桜並木
- ・ 消防署裏〜いで湯橋

あなたの思うことを教えて！

- ・ 大きなグラウンドが欲しい！
- ・ 町民がもっと桜まつりを好きになって欲しい
- ・ 道路脇の草木を刈って欲しい
- ・ 若い人たちが町に戻って住める町づくりを！
- ・ 湯ヶ野共同浴場の保存、踊子歩道の整備を！
- ・ 河津町の名物となるお土産を作してほしい
- ・ 観光にもっと力を入れて
- ・ 子育てのしやすい町に
- ・ 今の町の良い雰囲気的大事に守ってください
- ・ 色々な企画・イベントがあるけど、もっと町民ファーストで！
- ・ 町民が町の良いところを知り、もっと町外にPRするようにして



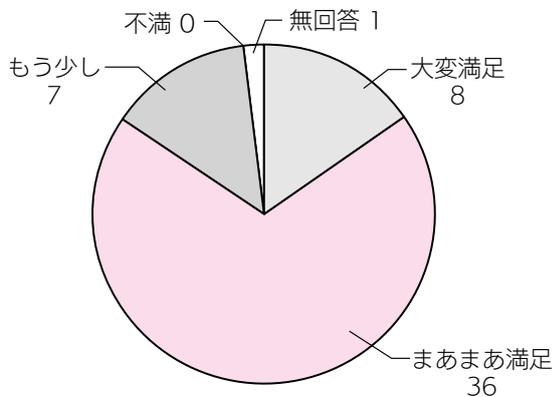
河津寄って軽トラ市でアンケートにご協力いただき本当にありがとうございました。
河津町議会は皆さまから頂いたご意見を参考に、河津町がもっともっと良い町となるよう頑張っていきますのでよろしくお祈いします。
今後も多くの皆さまにご意見を頂く機会を設けますので、ご協力をお願いします。

河中3年生に聞きました

河津町議会では議会改革を進める中で、広報の重要性を再認識し、さらに若い町民の皆さまに議会活動を知っていただくため、昨年に引き続き、3年後に主権として選挙権をもつ未来を担う河津中学校3年生に3月定例会の内容を記載した「議会だより105号」を読んでもいただき議会広報紙についてのアンケートに回答いただきました。

Q2 「議会だより」に対する満足度は、どのくらいですか？（4段階）

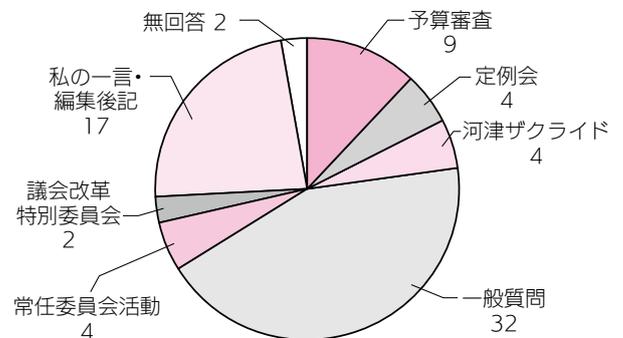
単位：人



・おおむね満足できている。

Q1 「議会だより」の記事で「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？（複数回答可）

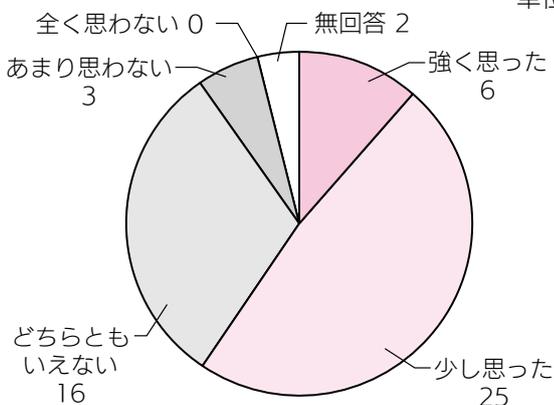
単位：人



・一般質問は多くの方に見てもらっている。他の記事は私の一言や予算審査などおおむね目を通してもらっている。

Q4 河津町の政治にもっと関心を持つべきと思いませんか？（5段階）

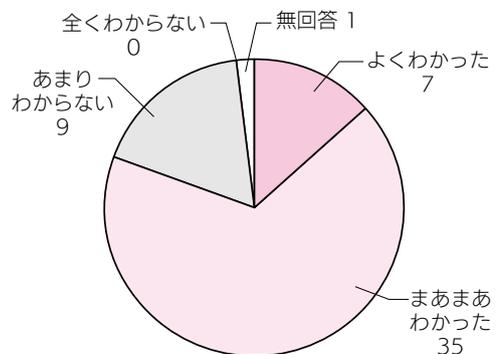
単位：人



・半数以上の生徒に関心を持っていただけた。

Q3 議会の活動内容について、伝わりましたか？（4段階）

単位：人



・おおむね伝えることができています。



議会だよりは年に4回定例会開催後に各戸配布されます。河津町の政治に少しは関心を持っていただけたら幸いです。

今後も議会広報紙に求められている、「わかりやすさ」、「身近さ」を感じることができる広報紙づくりを目指していきます。

Q 5 将来河津町がこんな町なら住みたいと思うことをお聞かせください。(記述式)

●町の雰囲気に関する意見

- ・住みやすい町
- ・人が多い町
- ・建物の多い町
- ・大きな祭りがある町
- ・これ以上寂しくならないように
- ・近所付き合いが良い

●環境等の意見

- ・自然の豊かさを残し、発展した町
- ・都会的な町

●行政に関すること

- ・旧西小の活用
- ・すべての人に手厚いサービスや公共施設の設置
- ・JRの誘致
- ・子育て、介護に向けた町
- ・広い公園がほしい
- ・大きな図書館がほしい
- ・イベントの回数が多く、生活の充実感が高い町

●都市機能

- ・店が増えてほしい
- ・コンビニが増えてほしい
- ・なんでもそろっている店がほしい
- ・本屋、映画館がほしい
- ・大きな店がある
- ・娯楽施設のある町
- ・ショッピングモール
- ・店が多い
- ・ゲームセンターがある
- ・建物多い
- ・スケボーパークのある町
- ・バスケットコートのある町
- ・野球場のある町
- ・百均、飲食店、ボイストレーニング教室がある
- ・雨や暑い日でも遊べたり、話ができる場所が欲しい

アンケートを通じ、議会広報紙を読んでいただくことができ、少しでも町政に関心を持っていただくことができたことと思います。右は昨年の子ども議会の様子ですが、生徒の皆さんの意見を直接町へ訴えることができました。本年度も計画されておりますので、興味のある方は参加してみたいかがでしょうか。



アンケートにお答えいただいた皆さま、ありがとうございました。

一部事務組合

下田地区消防組合

5月21日
全員協議会

・5月30日開催予定の臨時会についての議案説明

・今期導入された後方支援車の説明

5月30日

臨時会

・監査委員の選任

・交通事故賠償の和解について

・補正予算

・専決処分事項の指定

以上4件を審議し、可決した。



導入した後方支援車

下田メディカルセンター

3月28日
議会議員勉強会

「賀茂圏域における周産期医療体制の現状と課題」

講師

下田市市民保健課

吉田康敏課長

南伊豆町健康増進課

宮本利江課長

5月22日

全員協議会

・下田メディカルセンター指定管理者外部評価委員会の評価結果について

・次期指定管理者の選定について

・共立湊病院跡地について

以上3件について協議を行った。

議会改革特別委員会

・申合せ事項の確認

議会運営において慣例的に行われてきた事項を文書化した。加えて、電子通信機器の議場への持ち込みも許可した。

これらの取り組みは、議会運営の不透明さを解消し、議員の活動をより明確にすることで、なり手不足の解消へ向けた一歩となる。

なお、電子通信機器の持ち込み許可は、将来的なペーパーレス化に向けた取り組みの一環である。また今議会からモニターを利用し、解り易い一般質問とするため質問の補助として利用した。議員間の情報共有方法、議員資質向上のため一部事務組合等の会合の内容の共有方法を検討した。

・ファシリテーター研修
各常任委員会が各種団体との意見交換会を円滑に進めるためのノウハウを共有した。

議会のついで



渡邊 弘 議長

5月27日

令和7年度 全国町村議会議長・副議長研修会

東京都

渡邊議長・桑原副議長

今回の研修テーマは「災害と議会・議員の役割」。

3名の講師による講義が行われた。

5月30日、

静岡県地方議会議長連

絡協議会定期総会及び政

策研修会

静岡市

渡邊議長・桑原副議長

総会にて決算報告が行われ、承認されたのち次年度予算の報告が行われた。来賓の鈴木知事に挨拶をもらい、「人口減少時代における自治体の課題と議会の役割」というテーマでの講演が行われた。



Facebook
QRコード



Instagram
QRコード

議会だより第106号

読者アンケート

締め切り
8月末日必着

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に
アンケート回答
ができます

● 送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。

複数回答可)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> P. 2 定例会 | <input type="checkbox"/> P. 10～P. 11 出張！河津町議会 |
| <input type="checkbox"/> P. 3 伊豆縦貫道建設促進要望活動 | <input type="checkbox"/> P. 12～P. 13 中学生アンケート |
| <input type="checkbox"/> P. 4～P. 8 町政を問う（一般質問） | <input type="checkbox"/> P. 14 議会のうごき他 |
| <input type="checkbox"/> P. 9 常任委員会 | <input type="checkbox"/> P. 16 私の一言・編集後記 |

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. もう少し 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に
「踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。

なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前（任意）	
ご住所（任意）	
連絡先（任意）	

無記名でも回答いただけます。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきましたご意見・ご感想は、議会だよりで紹介及び議員内で共有させていただく場合があります。また取材や原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会から改めて連絡いたします。回答いただいた個人情報は、ご本人の許可なく外部に提供することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX 番号 0558-34-1405

E-mail: gikai@town.kawazu.lg.jp

～私の一言～



「生徒の内から湧き上がる思い」

河津中学校長
長友 信也

私の抱負を漢字一文字で表すと「湧」です。河津中では「生徒の内から湧き上がる思い」を大切にしています。この「湧」が集まると「湧々（わくわく）」になります。「すごい！なぜ？どうして？」「こんな〇〇を創りたい」「自分は□□のようになりたい」これらの思いは、生徒が主体的に活動するための大きなエネルギーになります。

私達は、生徒の「湧々」を大切にしながら、教育活動一つ一つの価値をしっかりと見極め、未来を切り拓く力を育成していきます。「生徒の育成は、河津町の未来を創ること」に願いを込めて、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を町民の皆様と共有して、地域とともにある学校づくりに尽力する決意です。



「ふるさと河津」

河津小学校長
鈴木 浩司

河津バガテル公園が好きで、度々夫婦で訪れます。バラやプラタナスに囲まれた素敵な庭園に、夫婦で癒されています。

20年前、息子の誕生の年に我が家に河津桜の苗木を植えました。大きく育った河津桜は、今年も見事な花を咲かせました。

そんな素敵な要素がたくさんある河津の子供たちは、素直で元気に育っています。

先日、6年生が修学旅行に行きました。東京のビル群や人の多さに感嘆の声を上げたり、国会での説明に積極的に反応したりと、充実した修学旅行となりました。

数年後には河津を出て都会や他所の地域に行く子供が多くなると思います。どこへ行ってもたくましく生きられるよう、ふるさと河津への愛着をたっぷり育ててほしいと思います。



編集後記

今号には小中学校の校長先生にご登壇いただきました。赴任されて約3か月半、ご苦労も多いと思いますが、かわぶっ子たちが楽しい学校生活を送れるようによりしくお願い致します。

中学3年生には昨年同様「議会だより」に接していただき3年後に選挙権を持つ皆様に、町の政治に興味を持って頂ければと思います。アンケート結果は、時系列データとして活用させていただきます。(北島)

広報常任委員会

委員長 渡邊昌昭

副委員長 正木誠司

委員 北島正男

〃 大川良樹

〃 桑原 猛

次回定例会は9月開催予定です。